

EX-TREND

官公庁

2016

はじめてみよう！

電子納品検査プログラム編

本書の使い方

本書は、下図のようなイメージで構成され、
 実際の手順を番号付きで説明しています。
 初心者の方でも、簡単に操作方法をマスター
 することができます。

電子成果品 5-4 エラー内容を指示入力する(朱書き)

選択したエラーの内容を、図面に朱書きで指示入力します。朱書きは「R_IND」というレイヤに入力されます。

1 朱書きを行う前に、「指示シート」に切り替えます。画面左下にある[指示]タブをクリックします。元の図面は「図面シート」に、これから記入する朱書きは「指示シート」に入力されることになります。

2 朱書きするエラーを選択してから、[朱書き]ボタンをクリックします。図面上のエラーの要素に、引き出し線と指示内容が朱書きされます。

【朱設定】ボタンをクリックして表示される【朱書き設定】ダイアログで、朱書きの詳細を設定することができます。

【朱書き】した項目のセルはピンク表示になるので、指示の入力/未入力を区別することができます。ただし再度エラーチェックをおこなうと、ピンク表示はクリアされます。

メモ 図面全体に関するエラー(図面・枠・レイヤなど)に対する指示は、用紙の左上に朱書きされます。

16

章のタイトル名(ツメ)です。

手順に対する場面を示しています。

節のタイトル名(ツメ)です。

操作の手順とその内容を記載しています。

機能や操作中のポイントを記載しています。

メモを記載しています。

ページ番号です。

表記について

本書は、下記のような用語やマークを使用して、
 操作を解説しています。

用語	マーク	説明
クリック	✓	マウスの左ボタンを1回押す動作のことです。
ダブルクリック	✓✓	マウスの左ボタンをすばやく2回押す動作のことです。
ドラッグ&ドロップ		マウスのボタンを押しながらマウスを移動し、移動後にそのボタンを離す動作のことです。
マウスポインタ		マウス本体の動きに合わせて移動するディスプレイ上の白矢印のことです。場面によって変化します。
「 」		メッセージや入力する値などを表します。
[]		メニュー・コマンド・ボタン・画面などの名前を表します。

目次

はじめてみよう! 電子納品検査プログラム編

電子成果品

1. 電子納品検査プログラムの起動	2
1-1 プログラムの起動と要領案の選択	2
2. 電子成果品の取り込み	3
2-1 納品された電子成果品をコンピューターに取り込む	3
2-2 画面構成	5
3. 納品データのチェック	6
3-1 取り込んだデータの納品チェック	6
3-2 チェック結果の出力	7
4. 納品成果ファイルのプレビュー確認	8
4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する	8
4-2 書類(PDFファイル)を確認する	9
4-3 書類(Word・Excelファイル)を確認する	10
4-4 図面(SXFファイル)を確認する	11
5. 図面のチェックと朱書き	13
5-1 TREND ff を起動する	13
5-2 エラーチェックをおこなう	14
5-3 エラー箇所とエラー内容を確認する	15
5-4 エラー内容を指示入力する(朱書き)	16
5-5 朱書きした図面ファイルを保存する	17
5-6 TREND ff を終了する	17

1. 電子納品検査プログラムの起動	20
1-1 プログラムの起動と要領案の選択	20
2. 工事写真の取り込み	21
2-1 納品された工事写真をコンピューターに取り込む	21
3. 納品データのチェック	23
3-1 取り込んだデータの納品チェック	23
3-2 チェック結果の出力	24
4. 工事写真のプレビュー確認	25
4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する	25
4-2 工事写真を確認する (その1)	26
4-3 工事写真を確認する (その2)	27
4-4 工事写真を確認する (その3)	28
1. EX-フォトビューアを起動する	28
2. EX-フォトビューアで、写真をチェックする	29
3. チェック結果を出力する	29

電子成果品



納品された電子成果品をコンピューターに取り込んで、検査しましょう。

1 電子納品検査プログラムの起動

2 電子成果品の取り込み

3 納品データのチェック

4 納品成果ファイルのプレビュー確認

5 図面のチェックと朱書き

1 電子納品検査プログラムの起動

電子納品検査プログラムを起動して、使用する要領・基準案を選択しましょう。

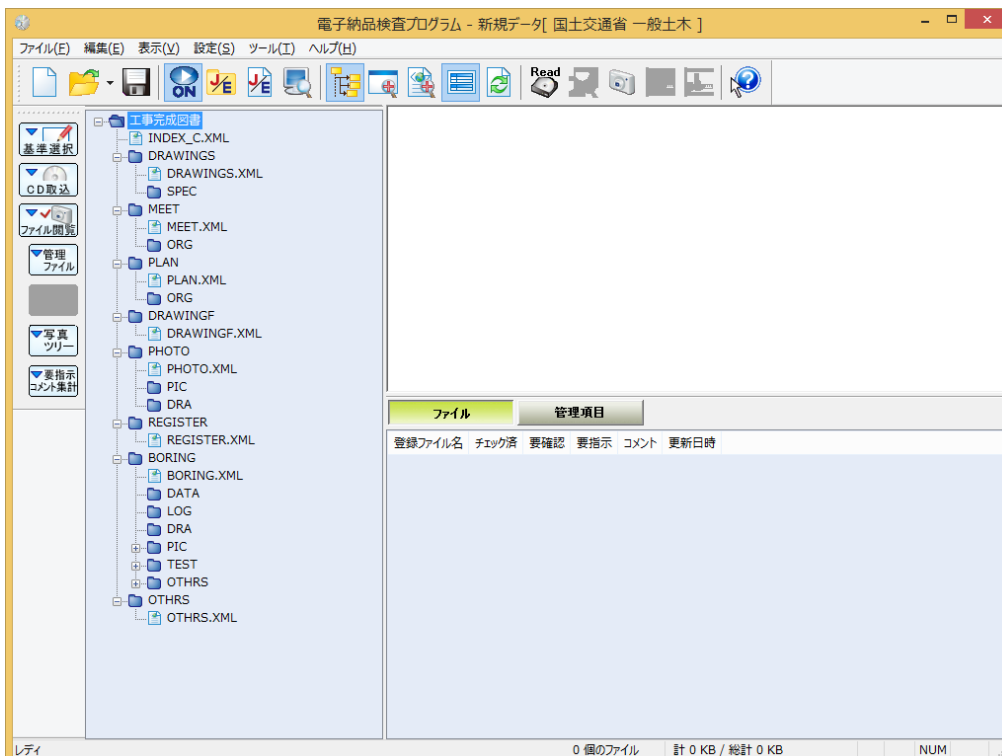
1

1-1 プログラムの起動と要領案の選択



1 電子納品検査プログラムを起動すると、「電子納品要領・基準案の選択」画面が表示されます。

上から順に、「地域」→「適用事業」→「分野」→「ガイドライン」→「要領・基準」を選択して、「OK」ボタンを押します。

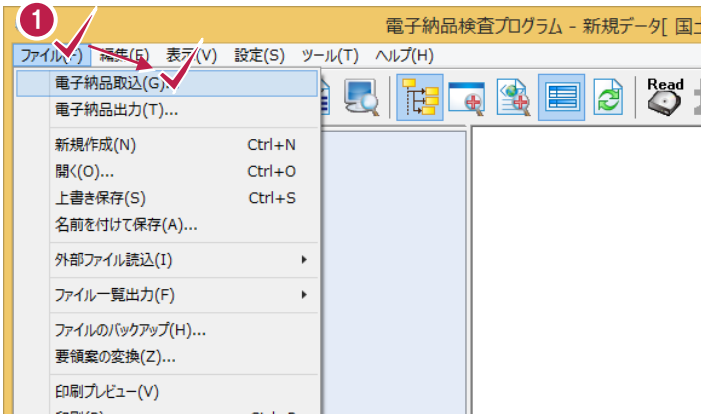


2 電子成果品の取り込み

納品された電子納品成果品をコンピューターに取り込みましょう。
(※ 情報共有システムの「工事帳票」も、同様な手順で取り込むことができます。)

2-1 納品された電子成果品をコンピューターに取り込む

電子納品検査プログラムに「電子成果品」を取り込みます。

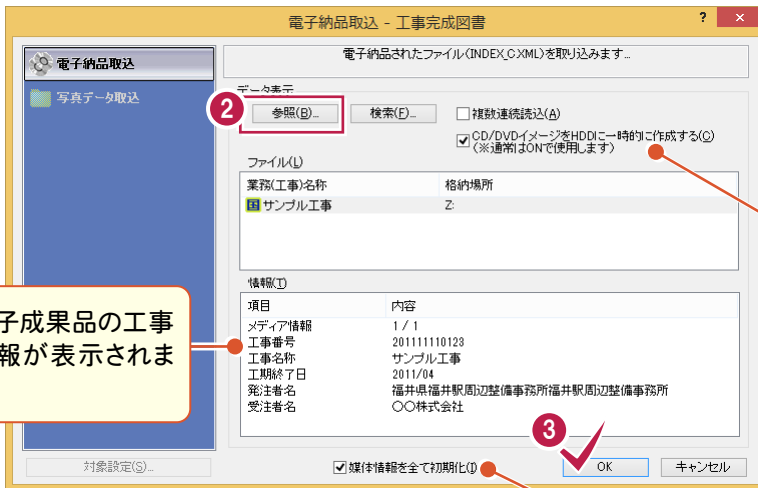


1 [ファイル]－[電子納品取込]コマンドをクリックします。

2 [参照]ボタンを押して、納品された電子成果品の
“工事完成図書管理ファイル”
(INDEX_C.XML)
を開きます。

3 工事情報を確認し、[OK]をクリックします。

4 新規取り込みの確認のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。



「CD/DVD イメージを HDD に一時的に作成する」とは

CDまたはDVDの内容を、検査用にハードディスクにコピーします。特に複数枚にわたるCDまたはDVDを検査する場合は、コピーしないと正常に検査できません。

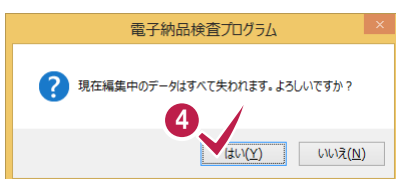
ただし納品されたCDまたはDVDが1枚の場合は、チェック「オフ」でも検査可能です。

「媒体情報を全て初期化」とは

通常は「オン」で使用してください。

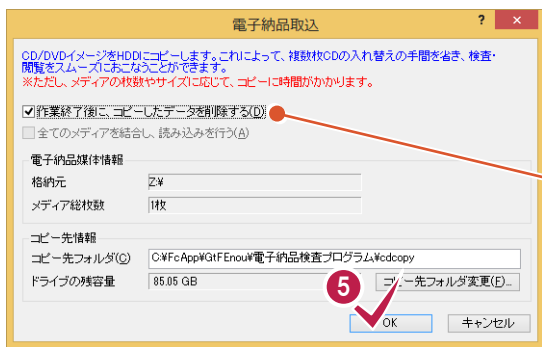
オン：編集中のデータを削除して、新規で取り込みます。

オフ：編集中のデータに、追加で取り込みます。



次ページへ

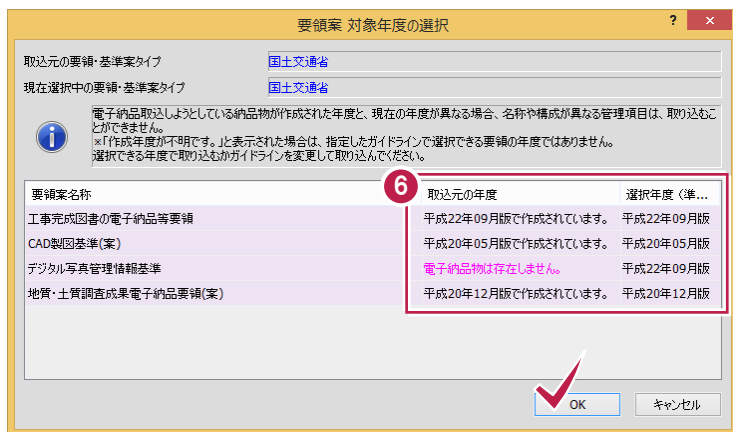
続き



- 5 CDのハードディスクへのコピー先が表示されます。確認後、[OK]をクリックします。

CDまたはDVDの内容を、検査後もハードディスクに残しておきたい時は、チェックボックスを「オフ」にします。

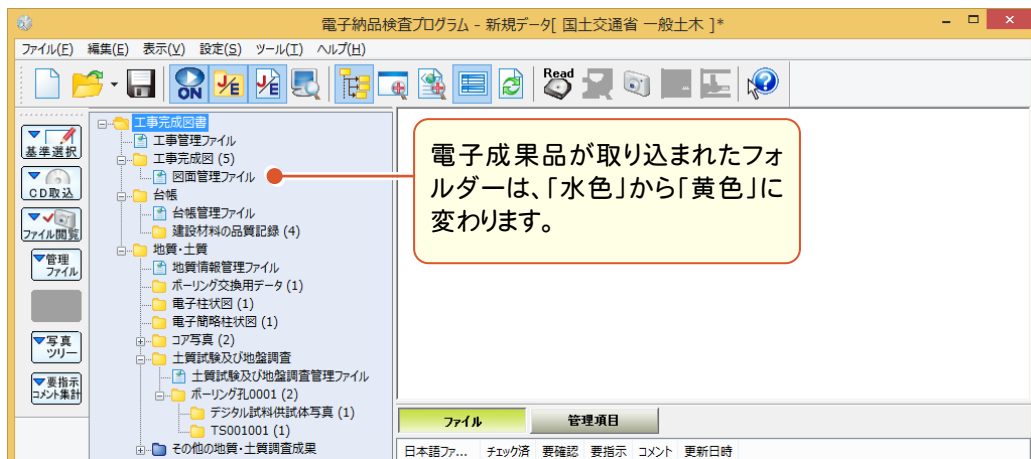
コピー先のフォルダーの場所を覚えておいて、使用しなくなったら忘れずにデータを削除してください。



- 6 「取込元の年度」(電子成果品の年度)と、「選択年度(準拠する年度)」(検査プログラム側の年度)が表示されます。

同一であることを確認して[OK]ボタンをクリックしてください。

電子成果品が取り込まれます。



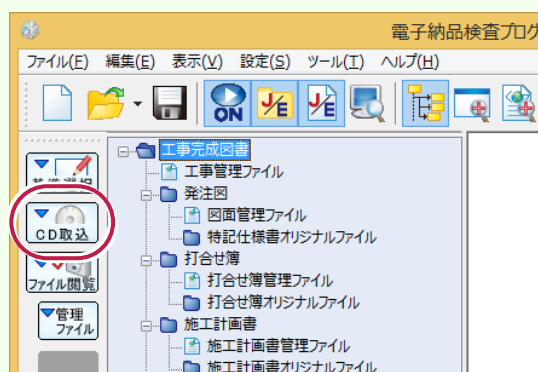
電子成果品が取り込まれたフォルダーは、「水色」から「黄色」に変わります。

メモ

電子納品データの取り込みは、コマンドバーから行えます

コマンドバーの[CD 取込]ボタンで、電子納品データを取り込むことができます。

またコマンドバーから[CD 取込]を行うと、「取り込んだデータの納品チェック」(P.6 参照)が、続けて自動実行されます。



2-2 画面構成

【ツリービュー】

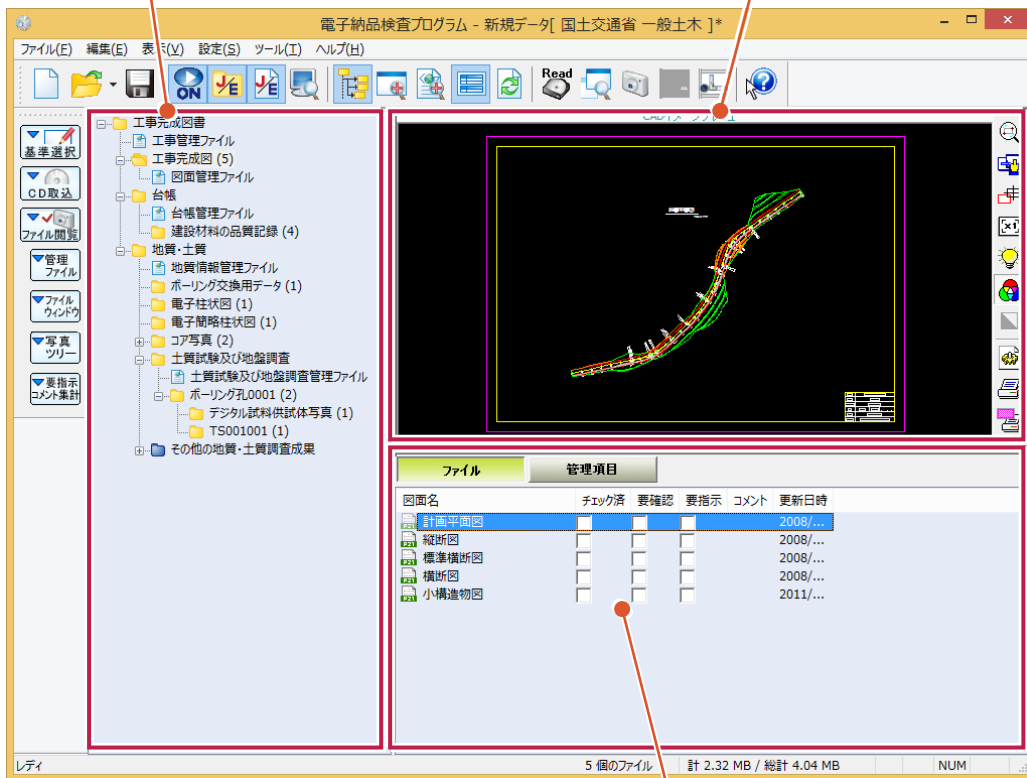
電子納品に必要な規定フォルダーの一覧を表示します。任意フォルダも作成可能です。フォルダ名称右の () は、登録ファイル数を示します。

【プレビュー】

【リストビュー】で選択したファイルのイメージを表示します。

閲覧できる主なファイル形式は TXT、CSV、RTF、DOC、XLS、PDF、BMP、JPG、TIF、GIF、SFC、P21、DXF、DWG、DMなどです。

補足：【表示】-【プレビュー表示】コマンドが有効になっている必要があります。コマンド名の先頭に、レ点チェックがついていれば有効状態です。



【リストビュー】

【ツリービュー】で選択したフォルダー内の登録ファイルの一覧を表示します。

補足：チェックボックスは、閲覧やチェックの状況など、ご自由にお使いください。

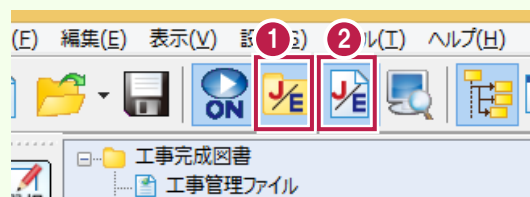
メモ

フォルダ名とファイル名の日本語表示←→英語表示の切り替え

ツールバーのボタン(右図)で日本語表示と英語表示を切り替える事ができます。

- ① のボタン：ツリービューのフォルダ名の切り替え
- ② のボタン：リストビューのファイル名の切り替え

※ 本書では、日本語表示の状態でご説明します。

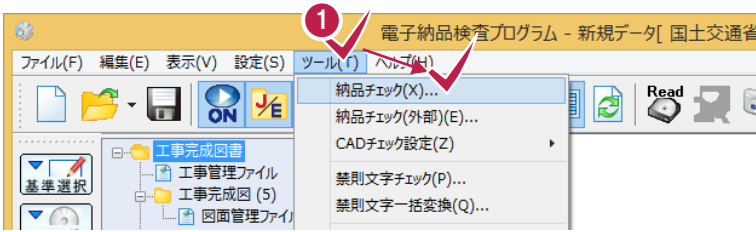


3 納品データのチェック

取り込んだ電子納品成果品をチェックしましょう。

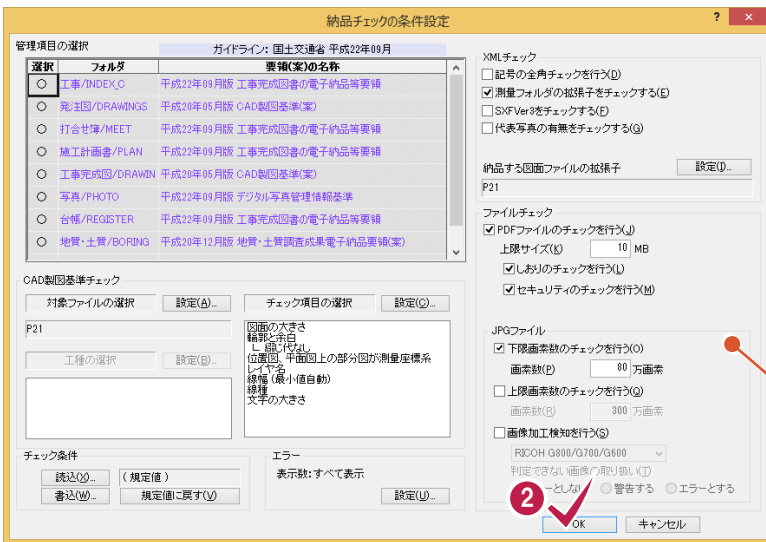
3-1 取り込んだデータの納品チェック

必須記入項目での入力漏れや、不適切な入力がないかを電子納品要領に基づいてチェックします。



1 [ツール]-[納品チェック]コマンドをクリックします。

2 [納品チェックの条件設定]ダイアログが表示されます。
[XMLチェック][ファイルチェック]の各項目を、ガイドラインや受発注者間の協議などに従って設定し、[OK]ボタンを押します。



3 [納品チェック結果一覧]が表示されます。エラーが赤字でリスト表示されます。(青字は注意事項)
各タブを切り替えてエラーを確認してください。

納品チェックの設定は、プログラムの起動時に選択した基準案によって自動設定されますので、通常は変更する必要はありません。

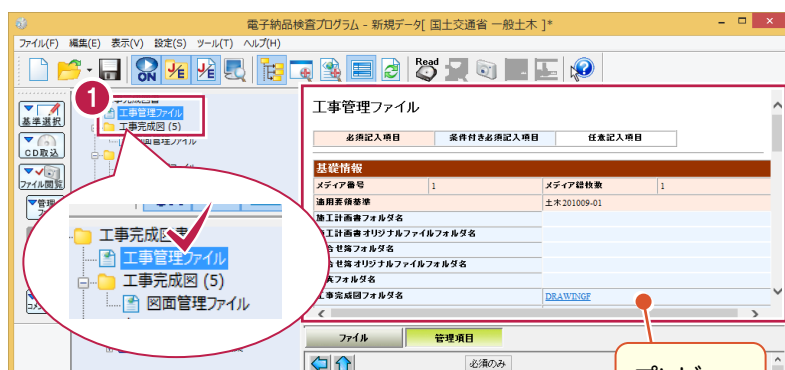
3

納品チェック						
【表示するXMLファイル】						
	XML	ファイル	関連付け	CAD(内容)	CAD(要素)	
<input checked="" type="checkbox"/>	工事					
<input checked="" type="checkbox"/>	工事完成図					
<input checked="" type="checkbox"/>	台帳					
<input checked="" type="checkbox"/>	地質情報					
<input checked="" type="checkbox"/>	コア写真					
<input checked="" type="checkbox"/>	土質試験及び地盤調査					
<input checked="" type="checkbox"/>	土質試験結果一覧表					
	フォルダ名	ファイル名	判定	項目名	データ	エラー内容
	INDEX_C	INDEX_C.XML	エラー	住所コード		住所情報が未入力です。
	INDEX_C	INDEX_C.XML	エラー	工事内容		内容が記述されていません。
	*REGISTER*ORG001	REG01_01.XLS	エラー	オリジナルファイル日本語名	様式-102配合.xls	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_01.XLS	エラー	オリジナルファイル内容	様式-102配合	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_02.XLS	エラー	オリジナルファイル日本語名	様式-104材料特性.xls	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_02.XLS	エラー	オリジナルファイル内容	様式-104材料特性	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_03.XLS	エラー	オリジナルファイル日本語名	様式-107品質試験結果.xls	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_03.XLS	エラー	オリジナルファイル内容	様式-107品質試験結果	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_04.XLS	エラー	オリジナルファイル日本語名	様式-109打設関係.xls	全角の英数字が使用されています。
	*REGISTER*ORG001	REG01_04.XLS	エラー	オリジナルファイル内容	様式-109打設関係	全角の英数字が使用されています。
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	岩石土区分_下端深度	23.70	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	岩石土区分_下端深度	24.55	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	岩石土区分_下端深度	27.95	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	岩石土区分_下端深度	30.15	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	岩石土区分_下端深度	32.15	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	色調_下端深度	23.70	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	色調_下端深度	24.55	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	色調_下端深度	27.95	最終深度は、総掘進長以下でなければ
	*BORING*DATA	(BED0001).XML	警告	色調_下端深度	30.15	最終深度は、総掘進長以下でなければ

4 納品成果ファイルのプレビュー確認

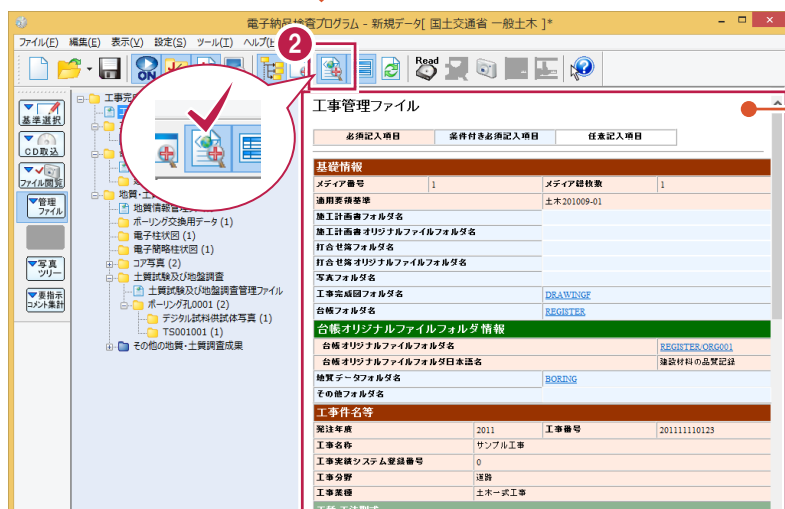
成果ファイルをプレビューで閲覧・確認しましょう。

4-1 管理ファイル(XMLファイル)を確認する



1 ツリービューで管理ファイル(XMLファイル)を選択すると、プレビューが表示されます。

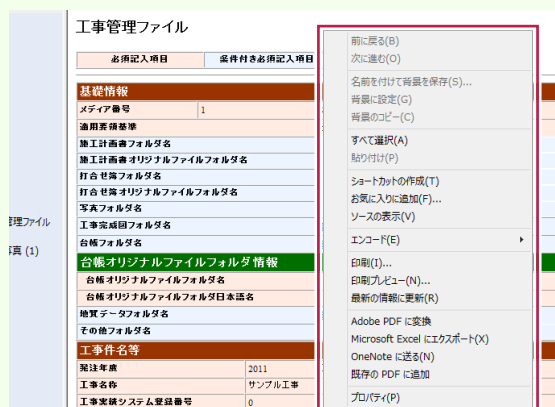
2 ツールバーの[プレビュー画面の表示領域拡大]コマンドを「オン」にすると、プレビューが拡大されて見やすくなります。



プレビューを拡大して見やすくします。

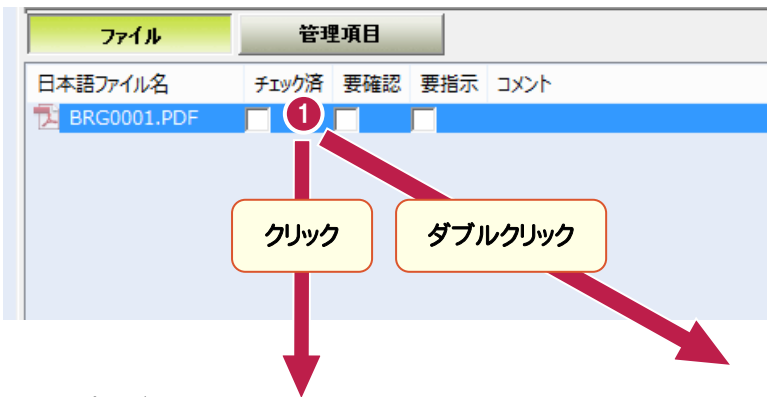
メモ

XMLファイルのプレビューでの操作 (印刷など)



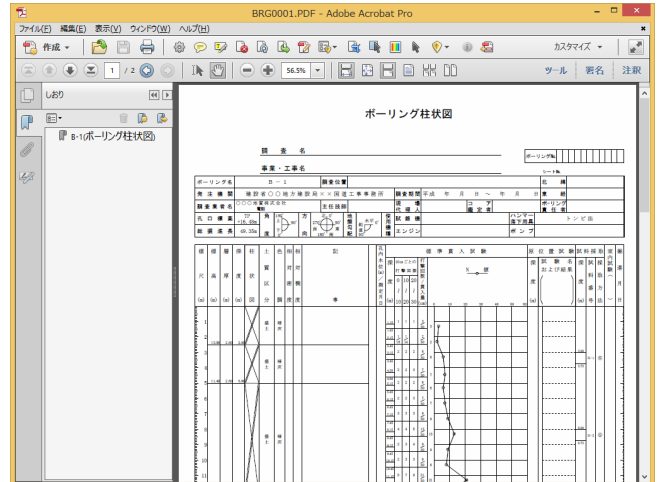
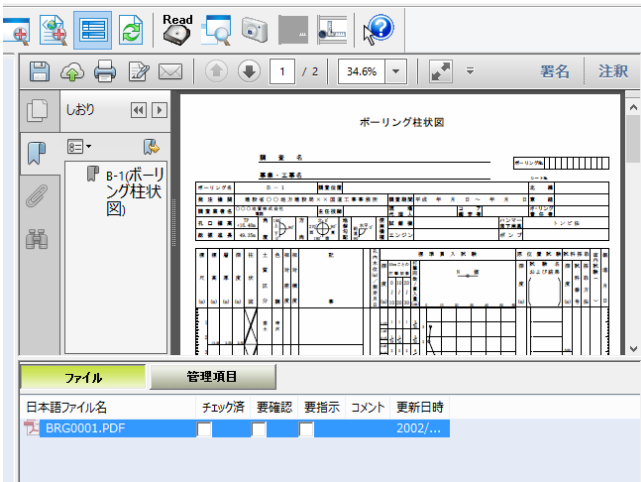
プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」でおこなってください。

4-2 書類(PDFファイル)を確認する



プレビュー

別プログラム(Adobe Acrobatなど)起動

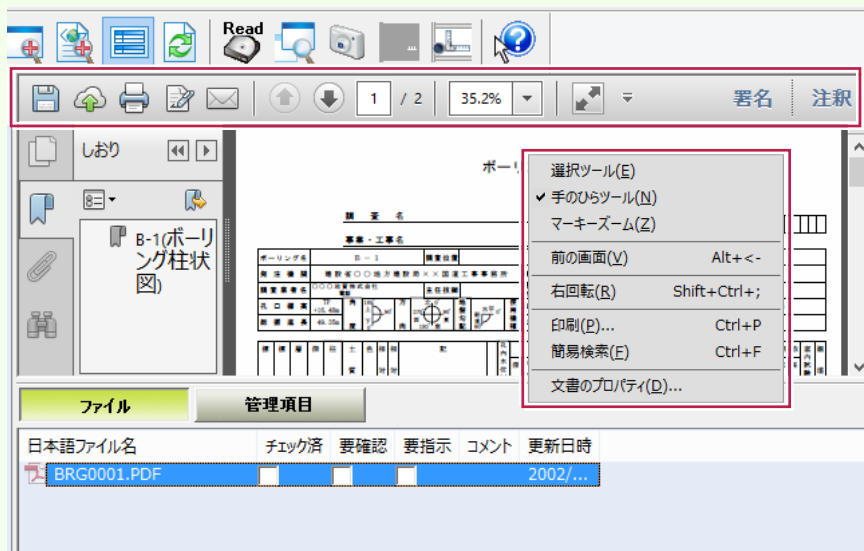


メモ

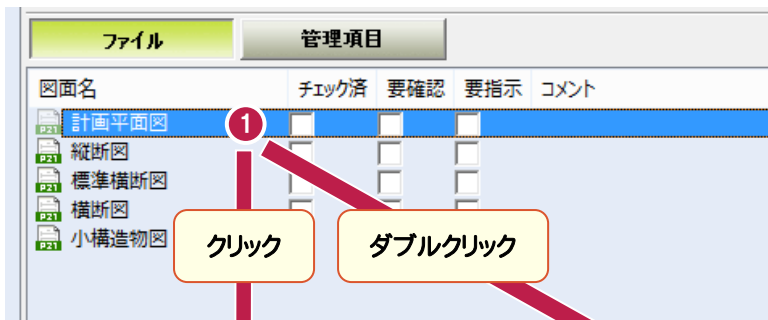
PDFファイルのプレビューでの操作

プレビューでの操作は、「ツールバー」や、右クリックで表示される「ポップアップメニュー」などでおこなってください。

※ Adobe Reader (または Adobe Acrobat) のバージョンやユーザーのカスタマイズによっては、下記画面の「ツールバー」「ポップアップメニュー」と異なる場合があります。

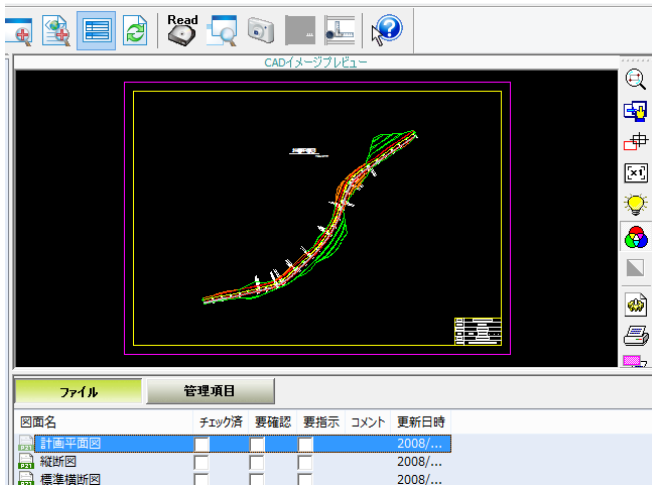


4-4 図面(SXFファイル)を確認する

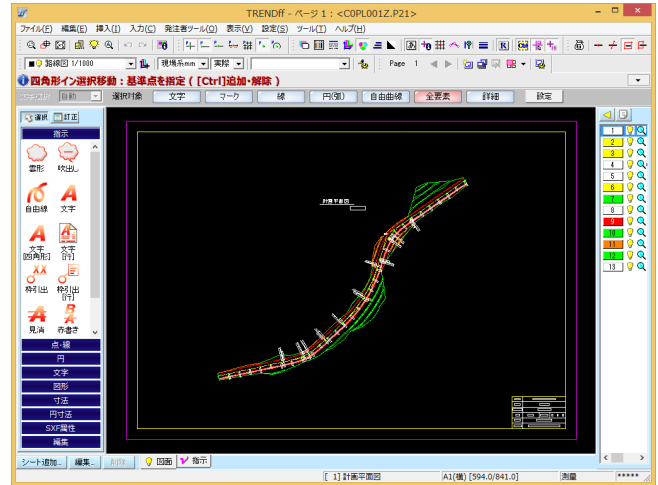


1 リストビューで図面(SXF)ファイルをクリックまたはダブルクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー



別プログラム起動(TREND ffや建設CADなど)

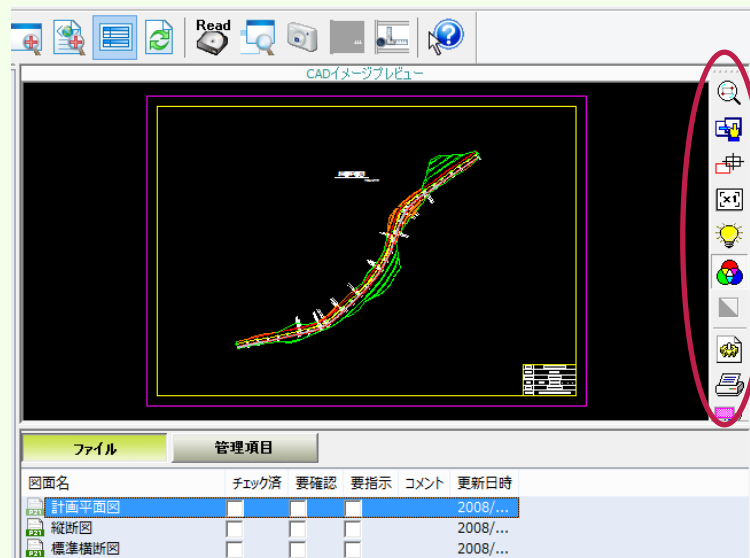













メモ

図面ファイルのプレビューでの操作

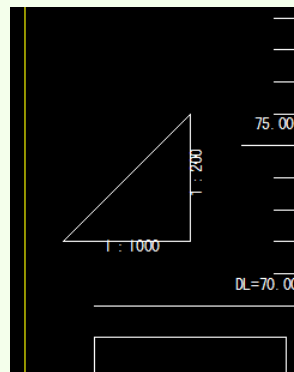
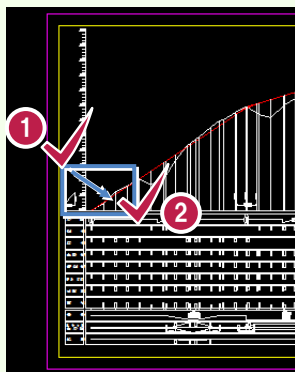
プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」または「プレビュー右側のアイコン」でおこなってください。

各コマンドの操作については、次ページを参照してください。

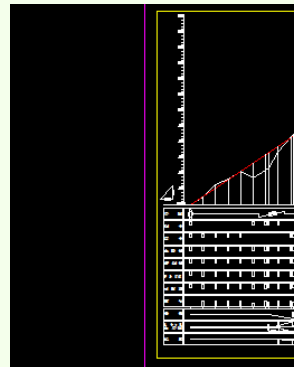
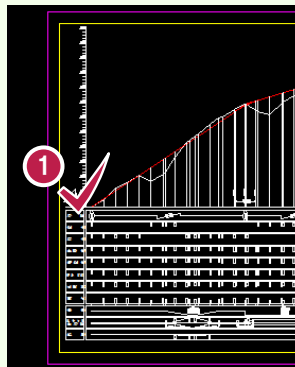


- 1  **拡大**
1→2クリックで枠内の図面を拡大表示します。
- 2  **画面移動**
このコマンドを実行するとマウスカーソルが「手のひら」になります。画面上で左ボタンを押下し、ドラッグすることで画面移動します。
- 3  **移動**
図面上でクリックした位置が、プレビュー画面の中心に移動します。
- 4  **原図**
最初の表示状態に戻ります(用紙枠が表示エリアの中に収まるように表示します)。
- 5  **再描画**
要素の移動や削除の繰り返してCAD画面の表示が乱れているときなどに、表示を正常に戻します。
- 6  **カラー表示**
CADデータの持つ要素色で表示します。OFFの状態では白黒表示になります。
- 7  **背景白黒反転**
プレビューの表示色を反転します。(SXF Ver.3では使用できません。)
- 8  **ヘッダー/フッター**
“ファイル名”“日付”“任意文字列”のいずれかを、ヘッダーあるいはフッターに印刷させる機能です。
- 9  **印刷**
用紙枠内のデータを、プリンタの用紙サイズに収まる形で印刷します。
- 10  **部分印刷**
1→2クリックで枠内の図面を印刷します。
2点目を指定する際、プリンタ設定で設定されている用紙サイズ以上には大きく指定できないようになっています。
- 11  **情報表示**
SXFファイルのファイル情報(ファイル名、ファイルバージョン、トランスレータ名、共通ライブラリバージョン)を表示します。
- 12 **その他**
マウスホイールで拡大縮小します。

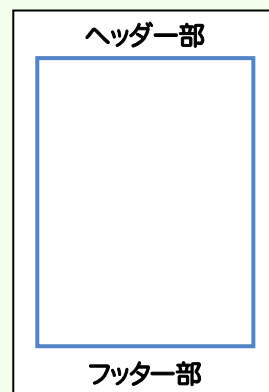
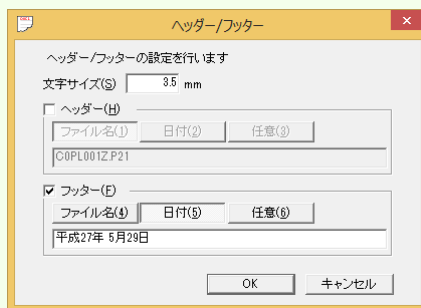
1. 拡大



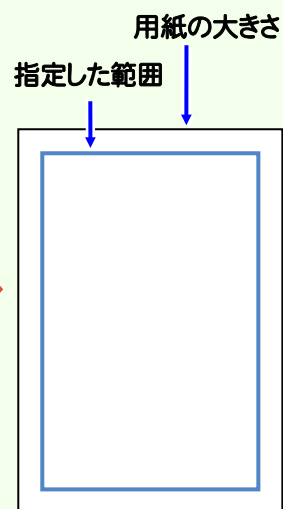
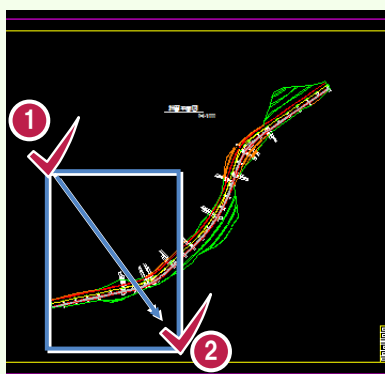
3. 移動



8. ヘッダー/フッター



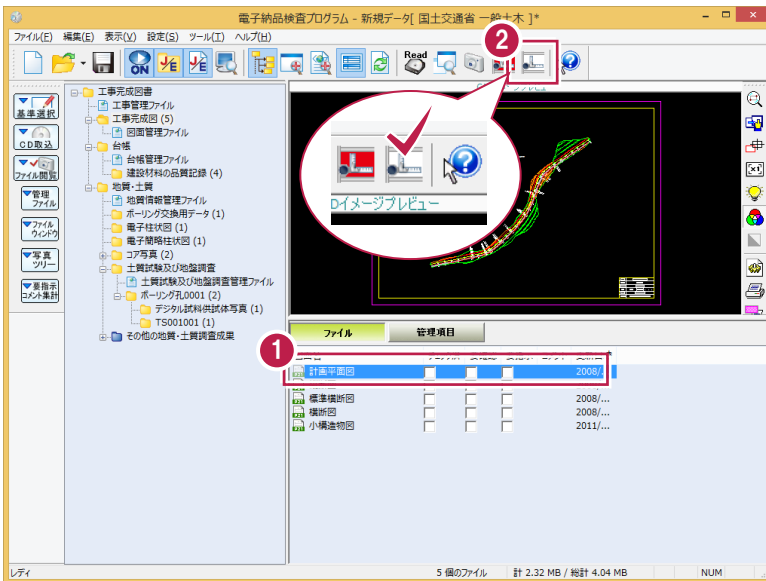
10. 部分印刷



5 図面のチェックと朱書き

図面をTREND ff でチェックして、朱書きをおこないましょう。

5-1 TREND ff を起動する

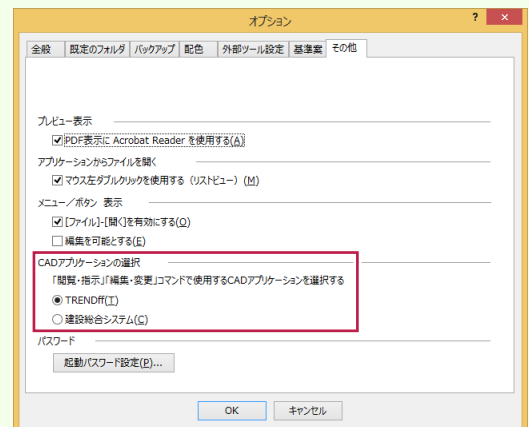


- 1 リストビューで、チェックする図面ファイル (SXFファイル) を選択します。
- 2 ツールバーの[編集・変更]コマンドをクリックします。
- 3 読み込み結果を確認して、[OK]をクリックします。
TREND ff が起動します。

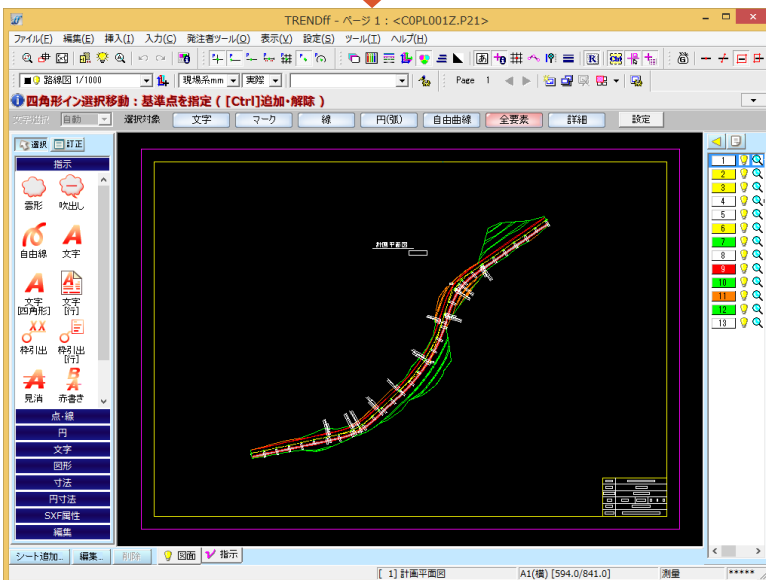
メモ

図面を開くプログラムは切り替え可能です

「建設総合システム」をお持ちの場合は、電子納品検査プログラムの[ツール]－[オプション]コマンドの[その他]タブで、図面を開くプログラムを切り替えることができます。

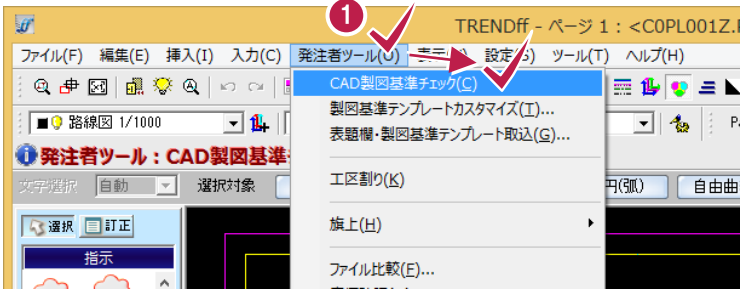


本書では「TRENDff」の場合で解説します。

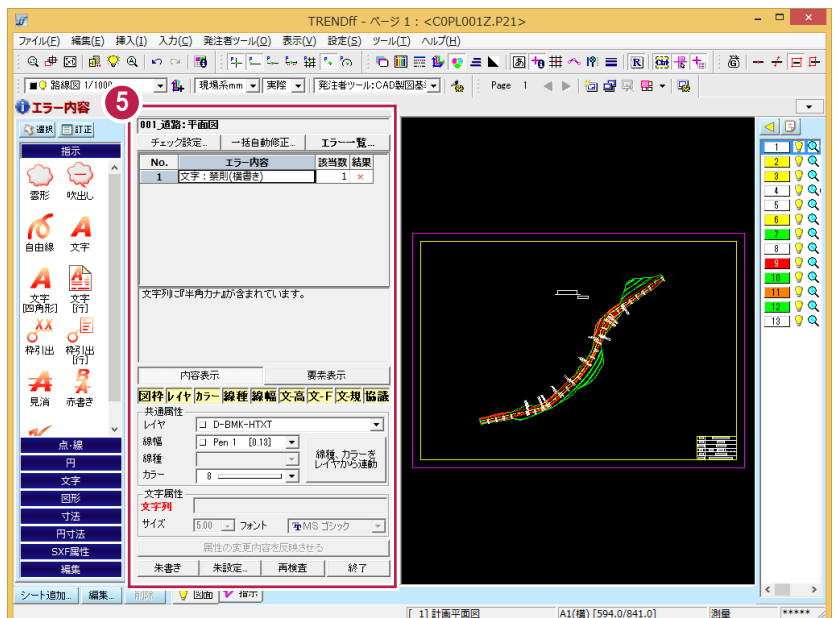
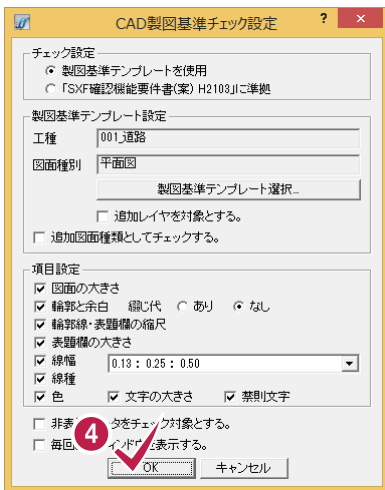
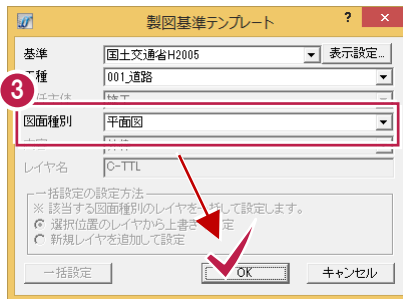
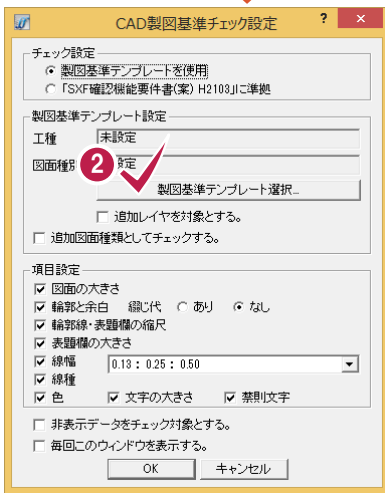


5-2 エラーチェックをおこなう

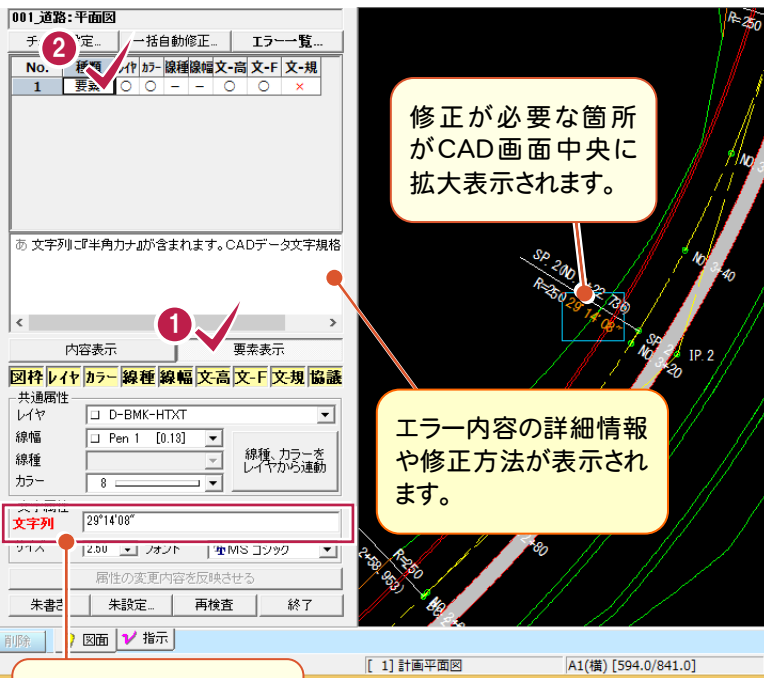
TREND ff で開いた図面を、CAD製図基準にしたがってチェックします。
CAD製図基準に準じていない訂正が必要な箇所には、朱書きを入力します。



- 1 [発注者ツール] - [CAD製図基準チェック] コマンドをクリックします。
- 2 [CAD製図基準チェック設定] ダイアログが表示されます。
[製図基準テンプレート選択] ボタンをクリックします。
- 3 図面のチェック内容を設定します。
ここでは平面図をチェックするので、
[図面種別] を「平面図」に設定して
[OK] をクリックします。
- 4 [CAD製図基準チェック設定] ダイアログに戻ります。
[OK] をクリックします。
- 5 CAD製図基準チェックが実行され、画面左にチェック結果画面が表示されます。



5-3 エラー箇所とエラー内容を確認する



1 [要素表示]をクリックします。
チェック結果画面が、要素表示に切り替わります。

2 チェック結果画面で、確認する要素をクリックします。

選択された要素がCAD画面中央に拡大表示されます。

また、チェック結果画面下部には、現在の属性が表示されます。

修正が必要な項目は、赤色で表示されます。

修正が必要な項目は、赤色で表示されます。

メモ

「要素表示」の項目について

[種類]：エラーの種類（用紙、枠、輪郭線、要素など）

[レイヤ]：レイヤ名

[カラー]：線色

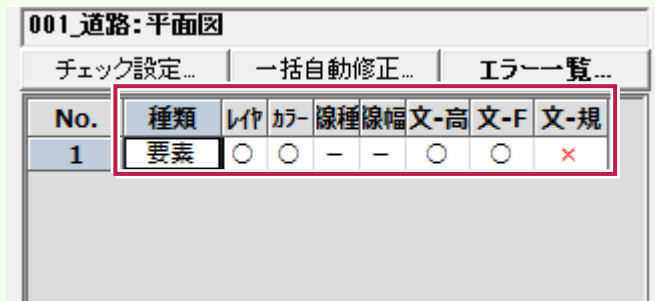
[線種]：線種

[線幅]：線の太さ

[文・高]：文字の大きさ

[文・F]：文字フォント

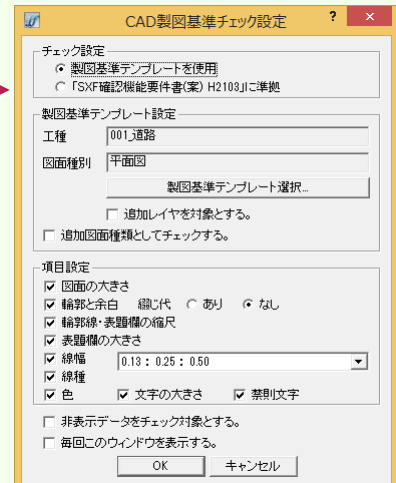
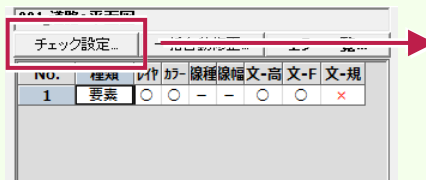
[文・規]：禁則文字(m²、株など)



メモ

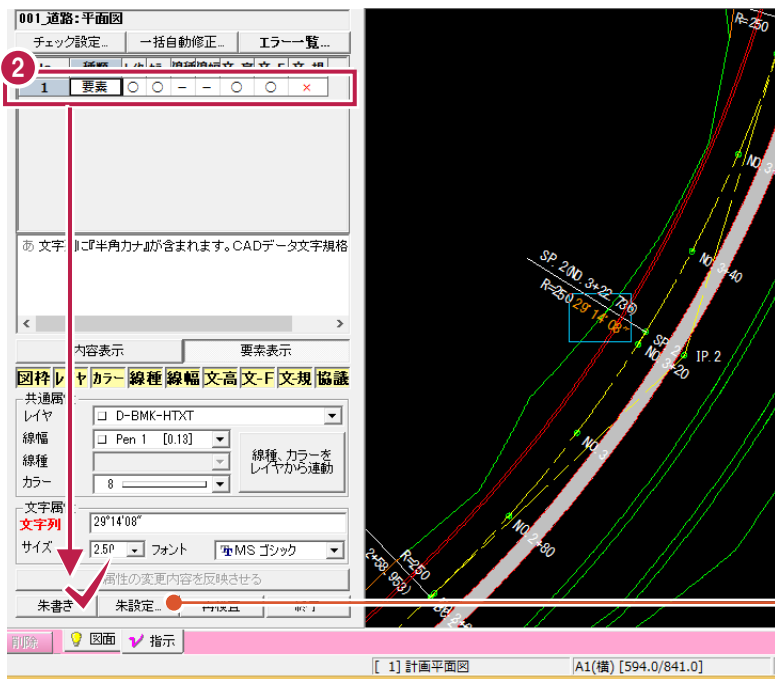
チェック内容の確認や変更は

チェック結果画面の[チェック設定]ボタンから表示される、[CAD 製図基準チェック設定]ダイアログで、チェック内容を確認・変更することができます。



5-4 エラー内容を指示入力する(朱書き)

選択したエラーの内容を、図面に朱書きで指示入力します。朱書きは「R_IND」というレイヤに入力されます。



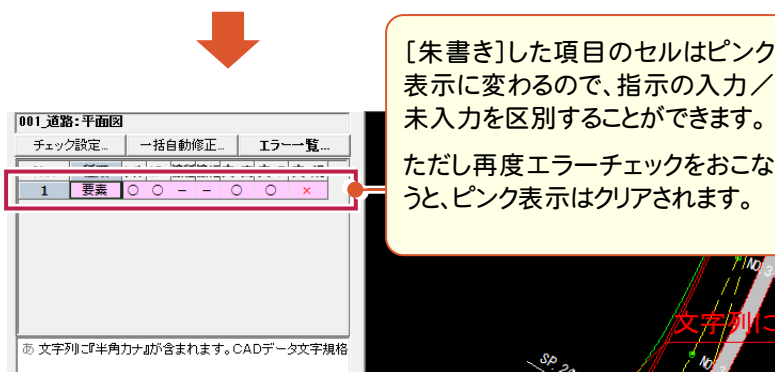
- 1 朱書きを行う前に、「指示シート」に切り替えます。
画面左下にある[指示]タブをクリックします。
元の図面は「図面シート」に、これから記入する朱書きは「指示シート」に入力されることになります。
- 2 朱書きするエラーを選択してから、[朱書き]ボタンをクリックします。

図面上のエラーの要素に、引き出し線と指示内容が朱書きされます。

[朱設定]ボタンをクリックして表示される[朱書き設定]ダイアログで、朱書きの詳細を設定することができます。

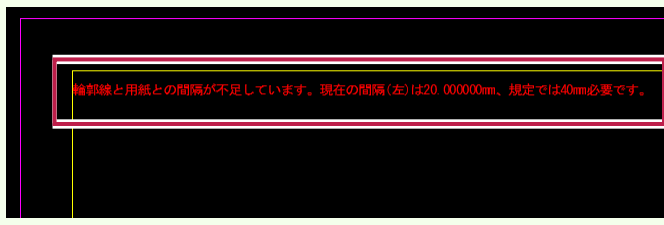


[朱書き]した項目のセルはピンク表示に変わるので、指示の入力/未入力を区別することができます。
ただし再度エラーチェックをおこなうと、ピンク表示はクリアされます。



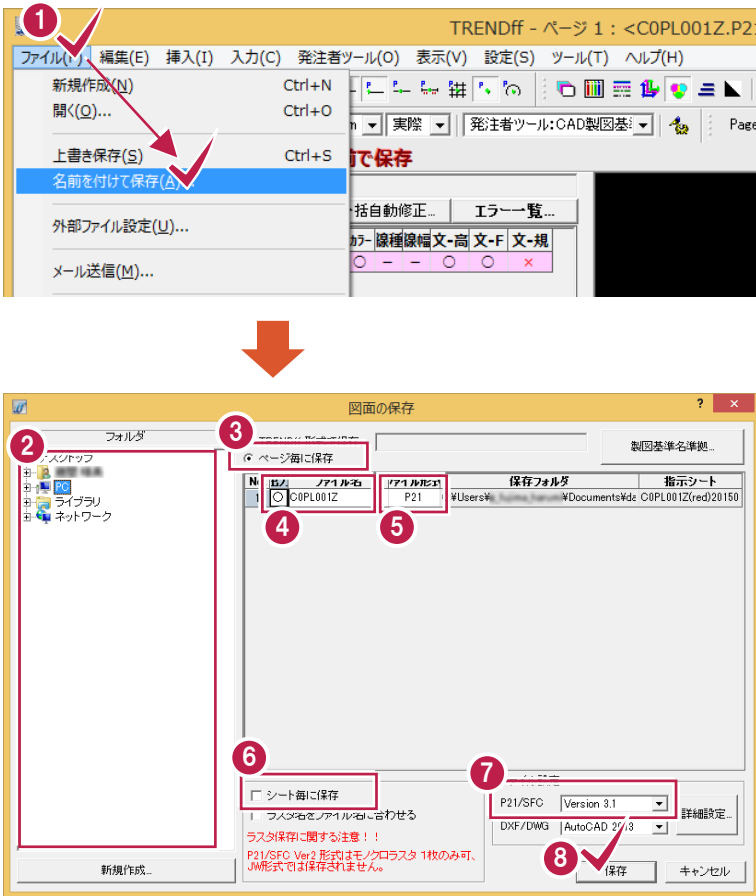
図面に「朱書き」が入力されます。

メモ 図面全体に関するエラー(図面・枠・レイヤなど)に対する指示は、用紙の左上に朱書きされます。



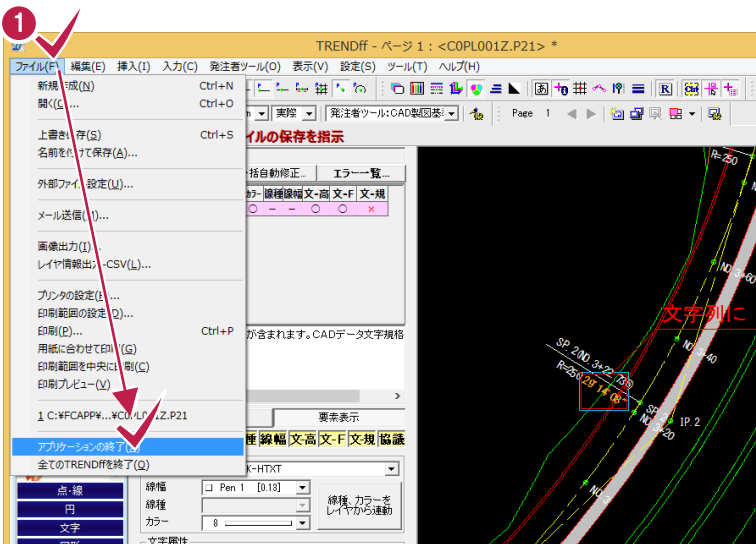
5-5 朱書きした図面ファイルを保存する

訂正箇所に朱書きを入力したデータを、[ファイル]－[名前を付けて保存]コマンドで別ファイルに保存します。



- 1 [ファイル]－[名前を付けて保存]コマンドをクリックします。
[図面の保存]ダイアログが表示されます。
- 2 保存先のフォルダを選択します。
- 3 [ページ毎に保存]をクリックします。
- 4 [出力]セルが「○」になっていることを確認して、[ファイル名]セルに保存するファイル名称を入力します。
- 5 ファイル形式を設定します。(P21またはSFC)
- 6 [シート毎に保存]チェックボックスを「オフ」にします。
- 7 SXFファイルのバージョンを設定します。
- 8 [保存]ボタンをクリックします。
朱書きした図面が保存されます。

5-6 TREND ff を終了する



- 1 [ファイル]－[アプリケーションの終了]コマンドをクリックし、TREND ff を終了します。

－メモ－

5

図面のチェックと朱書き

工事写真



納品された工事写真をコンピューターに取り込んで、検査しましょう。

- 1 電子納品検査プログラムの起動
- 2 工事写真の取り込み
- 3 納品データのチェック
- 4 工事写真のプレビュー確認

1 電子納品検査プログラムの起動

電子納品検査プログラムを起動して、使用する要領・基準案を選択しましょう。

1

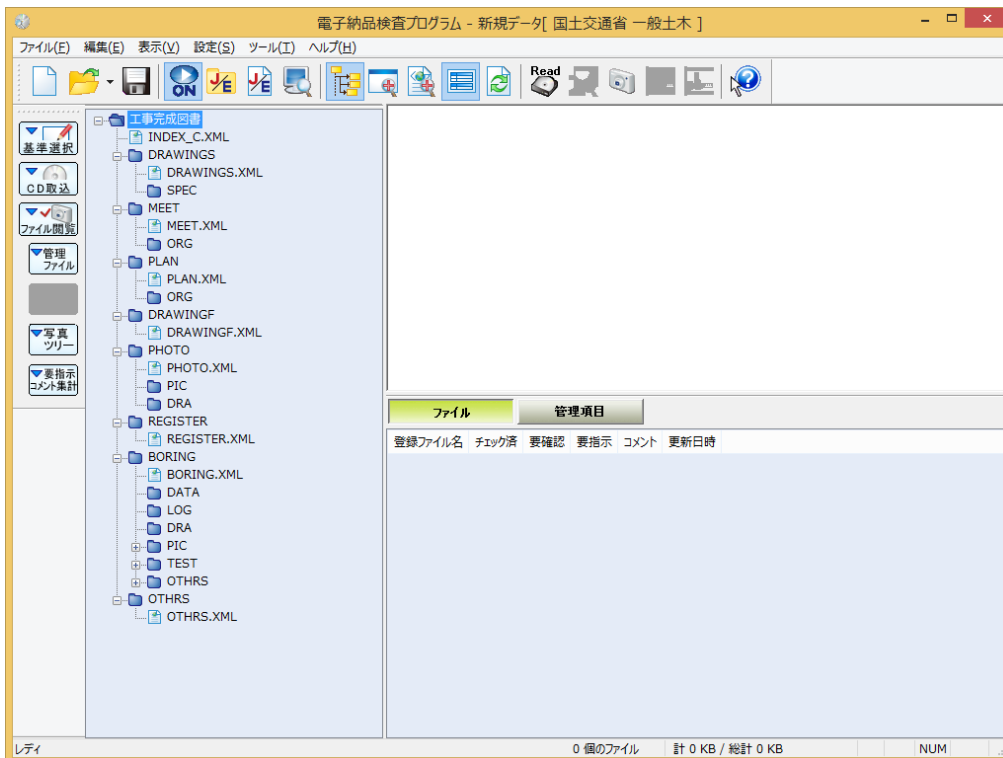
電子納品検査プログラムの起動

1-1 プログラムの起動と要領案の選択



1 電子納品検査プログラムを起動すると、「電子納品要領・基準案の選択」画面が表示されます。

上から順に、「地域」→「適用事業」→「分野」→「ガイドライン」→「要領・基準」を選択して、「OK」ボタンを押します。

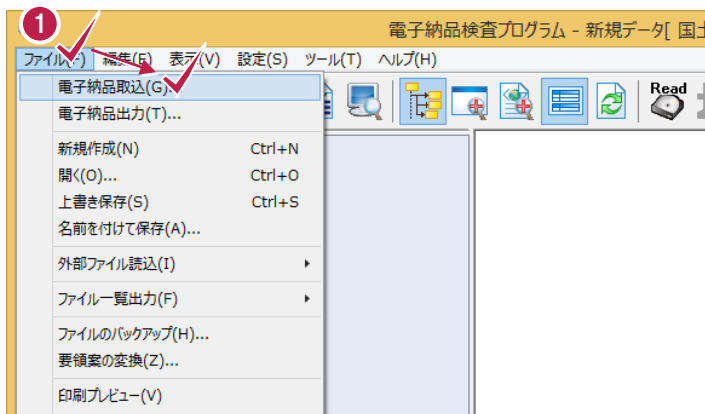


2 工事写真の取り込み

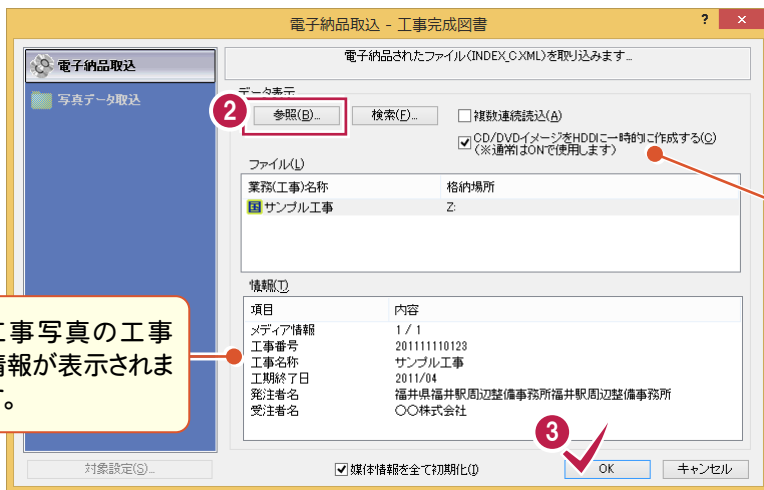
工事写真をコンピューターに取り込んでみましょう。

2-1 納品された工事写真をコンピューターに取り込む

電子納品検査プログラムに「工事写真」を取り込みます。



- 1 [ファイル]－[電子納品取込]コマンドをクリックします。
- 2 [参照]ボタンを押して、納品された工事写真の
“工事完成図書管理ファイル”
(INDEX_C.XML)
を開きます。
- 3 工事情報を確認し、[OK]をクリックします。
- 4 新規取り込みの確認のメッセージが表示されます。
[OK]ボタンをクリックしてください。

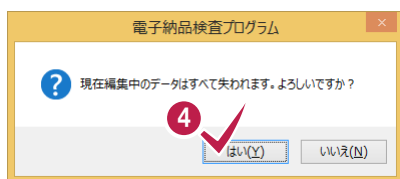


「CD/DVD イメージをHDDに一時的に作成する」とは

CDまたはDVDの内容を、検査用にハードディスクにコピーします。特に複数枚にわたるCDまたはDVDを検査する場合は、コピーしないと正常に検査できません。

ただし納品されたCDまたはDVDが1枚の場合は、チェック「オフ」でも検査可能です。

工事写真の工事情報が表示されます。



次ページへ

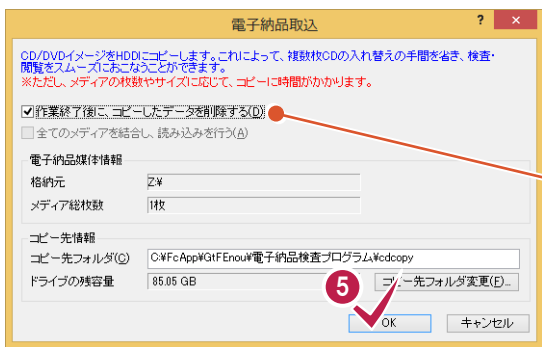
メモ

【写真データ取込】ボタンとは

納品された工事写真に「INDEX_C.XML」が無い場合は、【写真データ取込】を選択して「PHOTO.XML」を指定して取り込みます。

ただしこの時表示される【追加で読み込む】チェックボックスは、「オフ」で読み込んでください。「オン」で読み込むと、「シリアル番号」「写真ファイル名」「参考図書ファイル名」がずれる可能性があります。

続き ↓

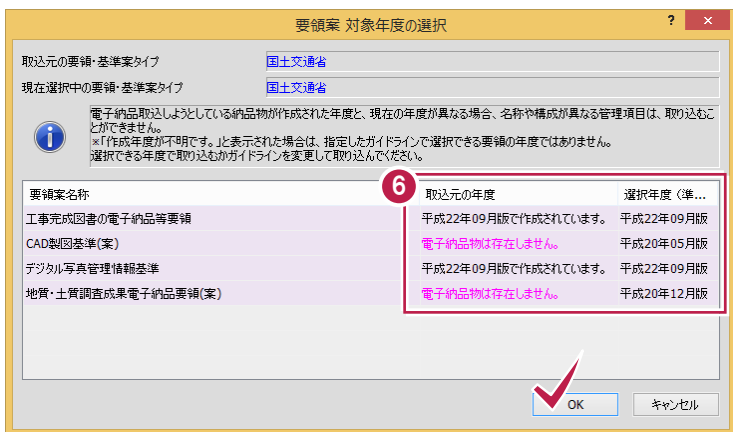


5 CDのハードディスクへのコピー先が表示されます。確認後、[OK]をクリックします。

CDまたはDVDの内容を、検査後もハードディスクに残しておきたい時は、チェックボックスを「オフ」にします。

コピー先のフォルダーの場所を覚えておいて、使用しなくなったら忘れずにデータを削除してください。

↓

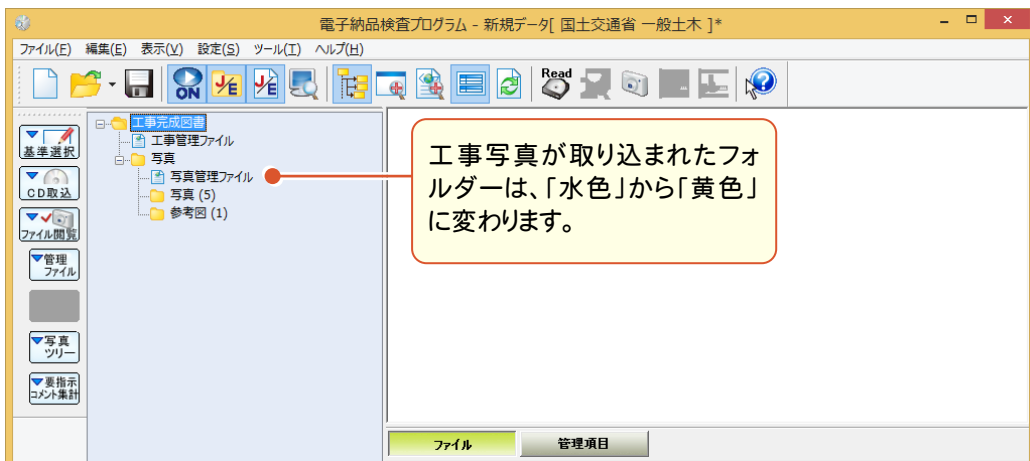


6 「取込元の年度」(電子成果品の年度)と、「選択年度(準拠する年度)」(検査プログラム側の年度)が表示されます。

同一であることを確認して[OK]ボタンをクリックしてください。

工事写真が取り込まれます。

↓



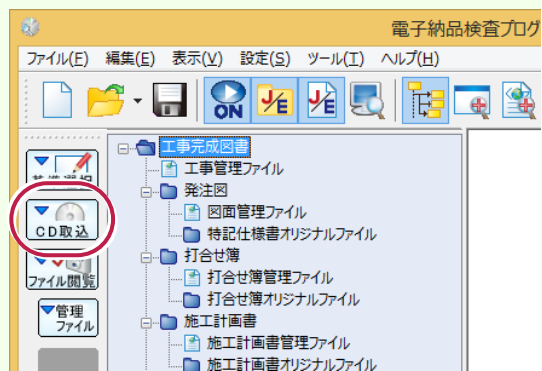
工事写真が取り込まれたフォルダーは、「水色」から「黄色」に変わります。

メモ

電子納品データの取り込みは、コマンドバーから行えます

コマンドバーの[CD 取込]ボタンで、電子納品データを取り込むことができます。

またコマンドバーから[CD 取込]を行うと、「取り込んだデータの納品チェック」(P.23 参照)が、続けて自動実行されます。

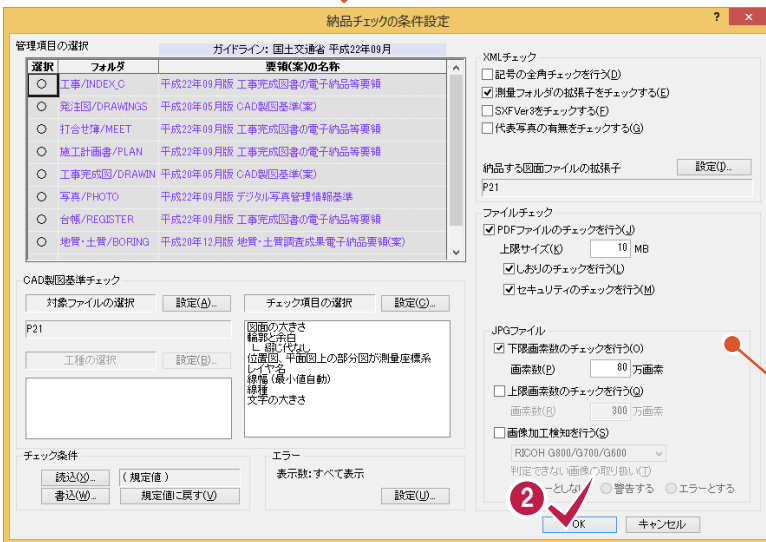
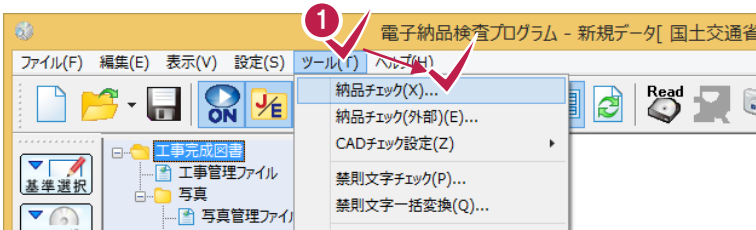


3 納品データのチェック

取り込んだ工事写真をチェックしましょう。

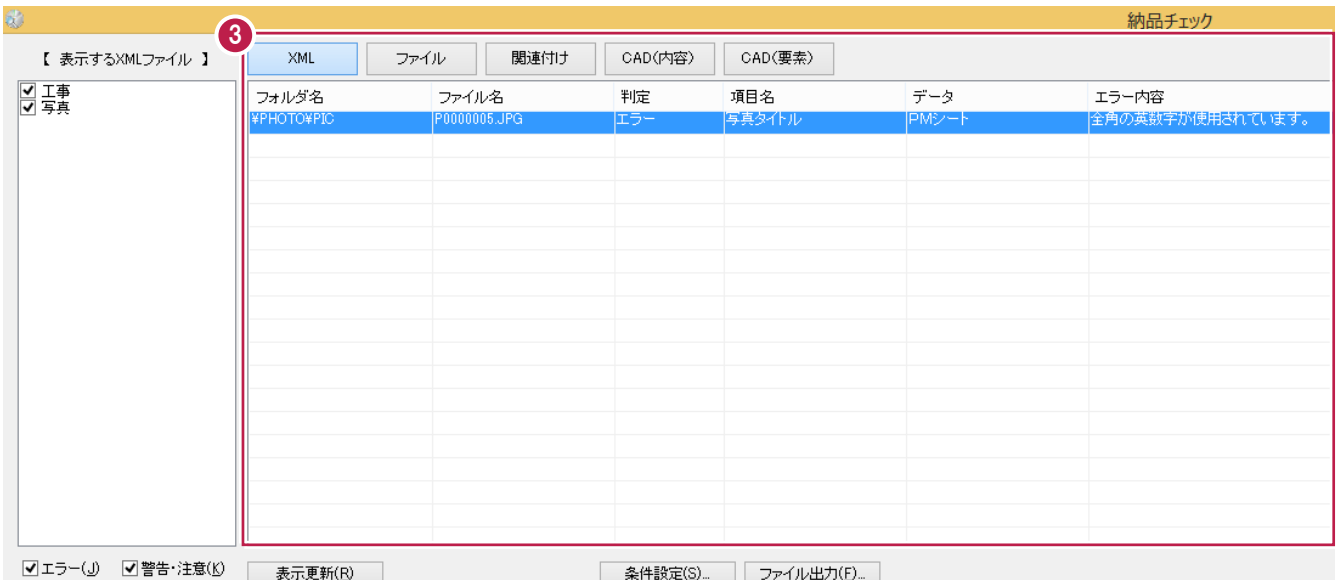
3-1 取り込んだデータの納品チェック

必須記入項目での入力漏れや、不適切な入力がないかを電子納品要領に基づいてチェックします。



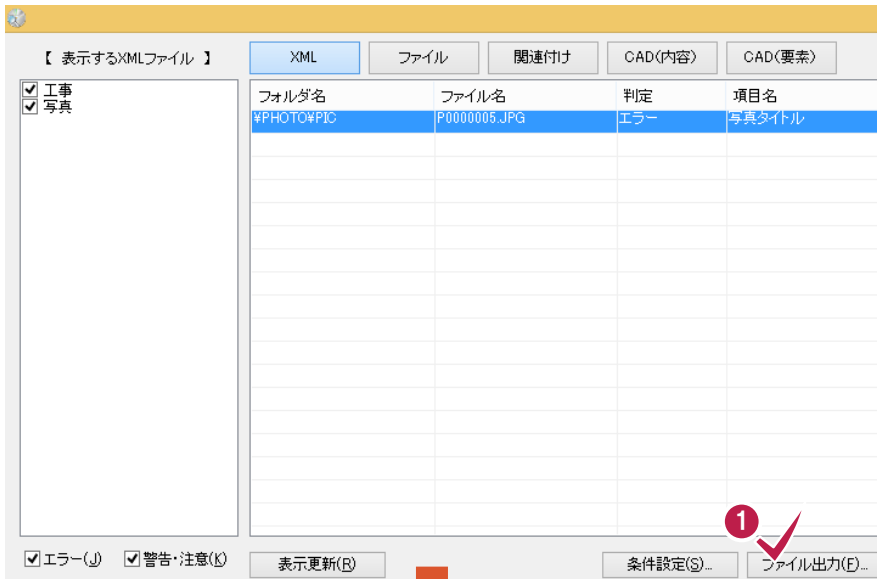
- 1 [ツール]—[納品チェック]コマンドをクリックします。
- 2 [納品チェックの条件設定]ダイアログが表示されます。
[XMLチェック][ファイルチェック]の各項目を、ガイドラインや受発注者間の協議などに従って設定し、[OK]ボタンを押します。
- 3 [納品チェック結果一覧]が表示されます。エラーが赤字でリスト表示されます。
(青字は注意事項)
各タブを切り替えてエラーを確認してください。

納品チェックの設定は、プログラムの起動時に選択した基準案によって自動設定されますので、通常は変更する必要はありません。



3-2 チェック結果の出力

チェック結果をファイル(CSVまたはEXCEL形式)に出力します。
 成果提出者に対し、メール等でファイルを送り、修正指示することもできます。

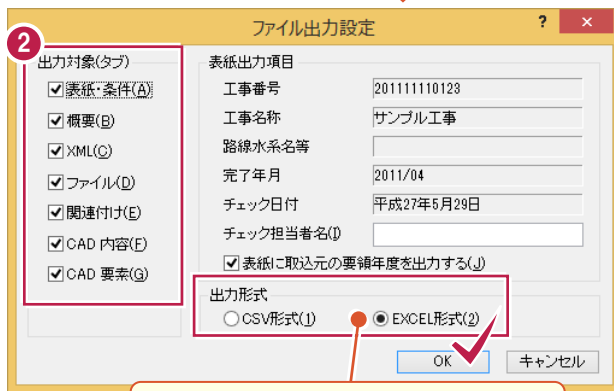


1 [ファイル出力]ボタンをクリックします。

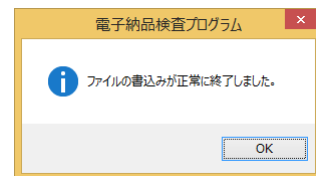
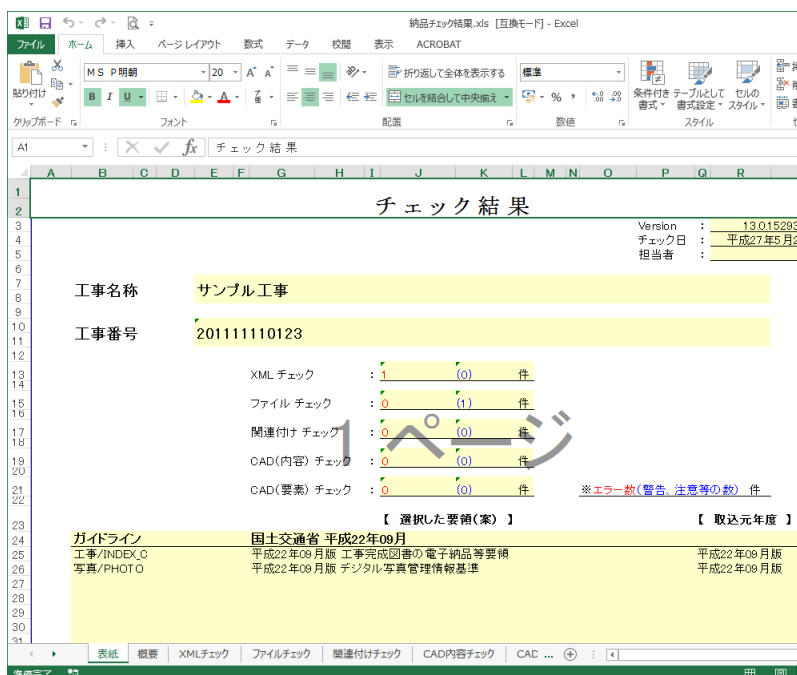
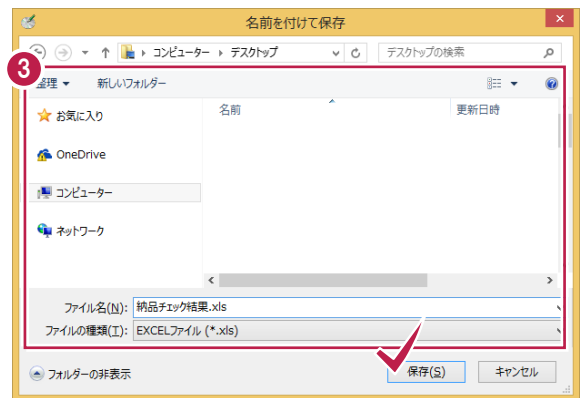
2 出力するタブと出力形式を選択して、[OK]ボタンをクリックします。

3 保存先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]ボタンをクリックします。

チェック結果が出力されます。



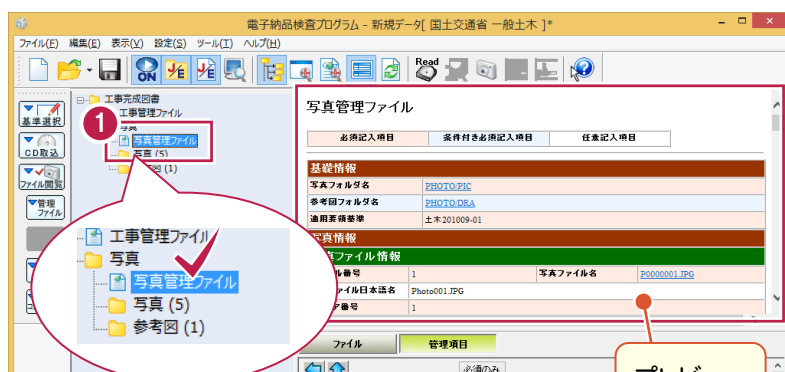
EXCEL形式を選択すると、エクセルで作成されます。



4 工事写真のプレビュー確認

工事写真をプレビューで閲覧・確認しましょう。

4-1 管理ファイル(XML ファイル)を確認する



- 1 ツリービューで管理ファイル(XMLファイル)を選択すると、プレビューが表示されます。
- 2 ツールバーの[プレビュー画面の表示領域拡大]コマンドを「オン」にすると、プレビューが拡大されて見やすくなります。



プレビューを拡大して見やすくします。

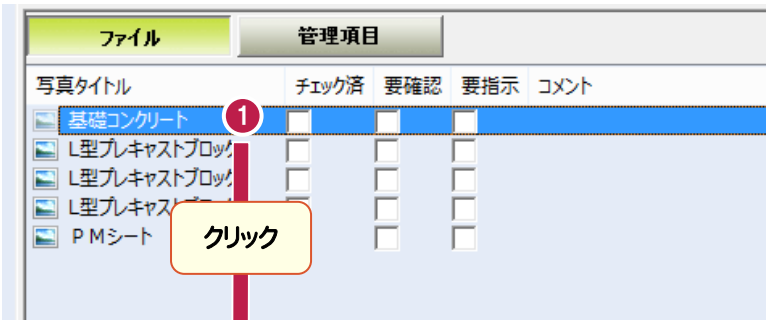
メモ

XML ファイルのプレビューでの操作 (印刷など)



プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」でおこなってください。

4-2 工事写真を確認する（その1）



1 リストビューで写真ファイルをクリックすると、プレビューが表示されます。

プレビュー



メモ

便利な機能その1

プレビュー画面上でマウス右ボタンをクリックして表示される[プロパティ]をクリックし、[グラフィック]タブの中の縮尺の設定を[図形全体]にしておく则表示が見やすくなります。

便利な機能その2

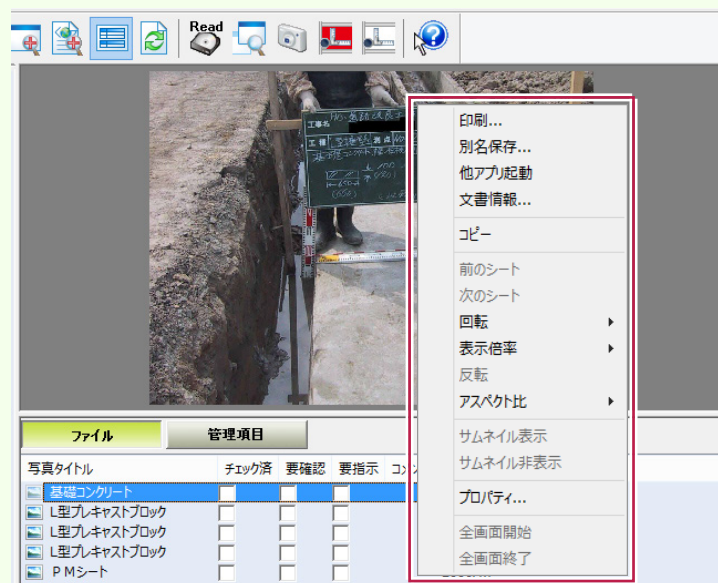
リストビューのファイルを右クリックして表示される[別ウインドウでプレビュー]コマンドでは、プレビュー画面とは別にウインドウが立ち上がり、写真を並べて表示できます。

この機能は図面や PDF データでも使えますので、色々な納品物を並べて表示させることができます。(最大9枚まで)

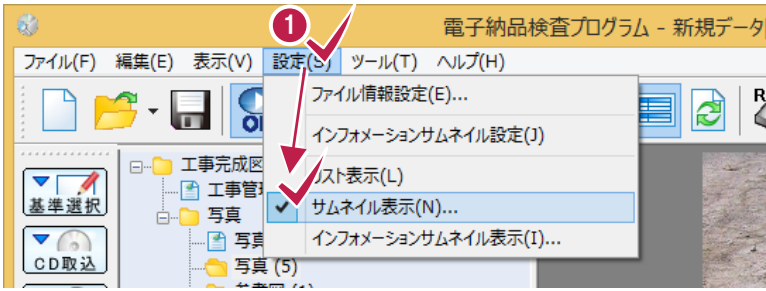
メモ

写真ファイルのプレビューでの操作

プレビューでの操作は、プレビュー上で右クリックして表示される「ポップアップメニュー」でおこなってください。



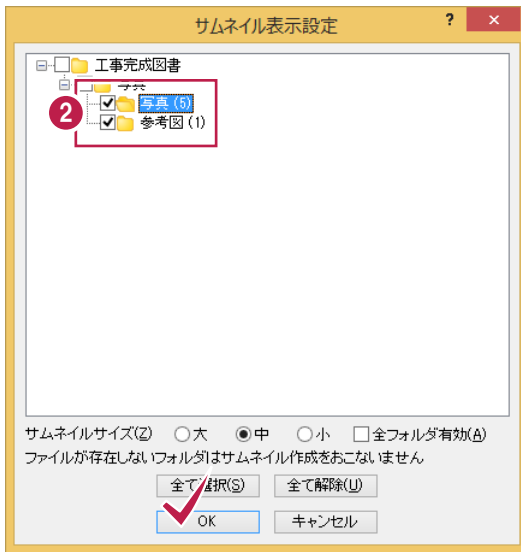
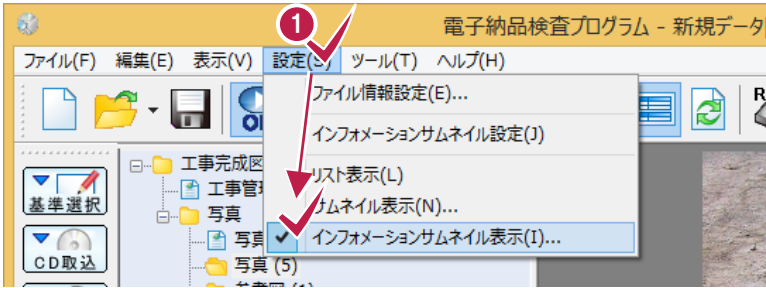
4-3 工事写真を確認する (その2)



1 [設定]-[サムネイル表示]コマンドまたは[設定]-[インフォメーションサムネイル表示]コマンドをクリックします。

2 サムネイル表示設定で、「写真」フォルダと「参考図」フォルダをチェックし、[OK]ボタンを押します。

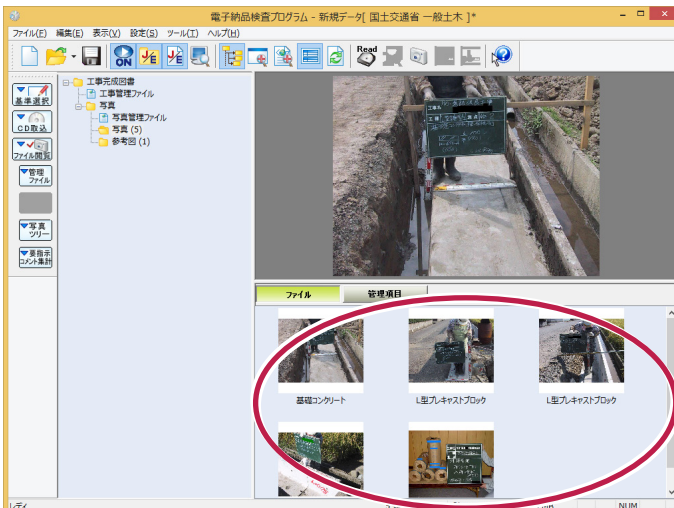
または



メモ

写真だけでなく書類、図面なども同様にサムネイル表示にできます。
リスト表示に戻すには、[設定]-[リスト表示]コマンドをクリックしてください。

サムネイル表示



インフォメーションサムネイル表示




4-4 工事写真を確認する (その3)

1. EX-フォトビューアを起動する

各写真の管理項目に入力された「工種」または「撮影箇所」が、ツリー表示されます。

EX-フォトビューア



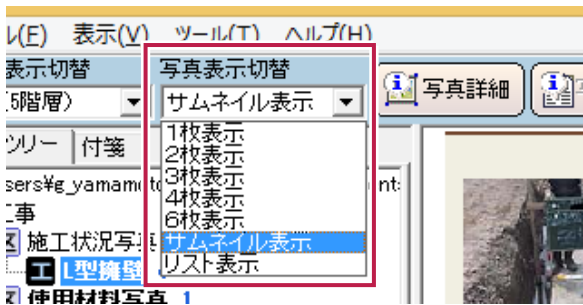
1 [表示]-[写真工種ツリー表示]コマンド、またはツールバーの  をクリックすると、写真閲覧ソフト「EX-フォトビューア」(左図)が起動します。

ツリーで選択した「工種」または「撮影箇所」の写真が一覧表示されます。

一覧で選択した写真の管理項目が表示されます。

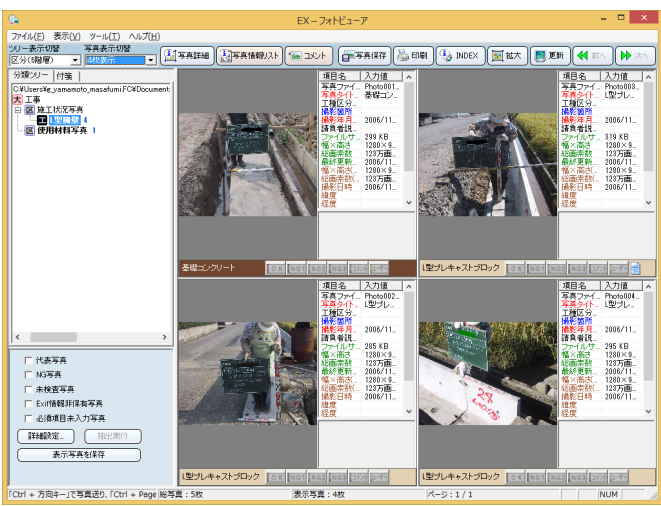
メモ EX-フォトビューアでは、管理項目の内容変更はできません。

管理項目などの情報から、表示する写真を絞り込みます。

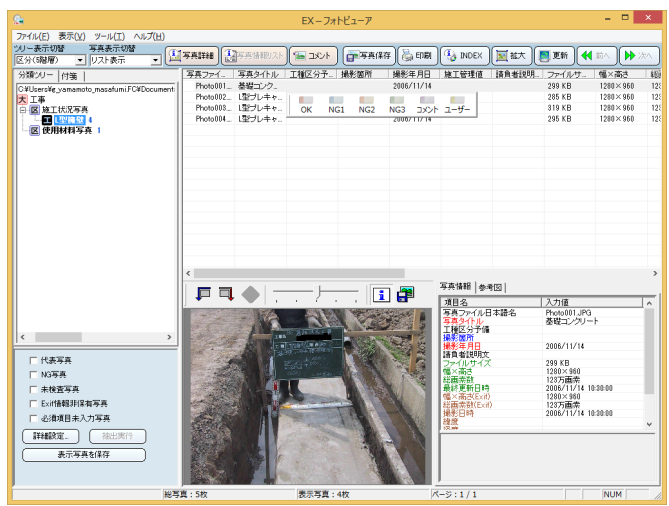


[写真表示切替]で、表示する写真の枚数を変更したり、「サムネール表示」「リスト表示」に切り替えたりできます。

4枚表示



リスト表示



2. EX-フォトビューアで、写真をチェックする



1 写真を選択して、チェックします。OKの場合は、[OK]の付箋をクリックします。NGの場合は、[NG1][NG2][NG3]の付箋をクリックします。(複数設定可) また[コメント]の付箋をクリックすると、コメントが入力できます。

OKの場合

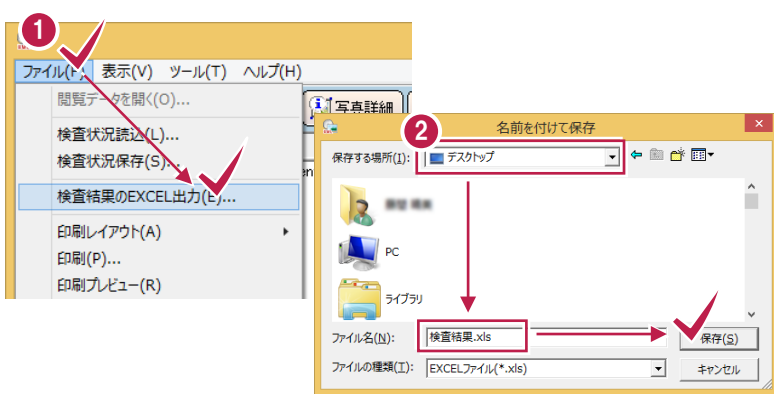
NGの場合 (NG1~3の内容(名称)については、[ツール]→[設定]で確認・変更ができます。)

コメントの記入

写真に対してコメントしたい場合は、以下に記入してください。また、コメントを削除したい場合は、以下を空欄にOKボタンを押してください。長すぎるコメントは、全てを表示・印刷することができません。
[写真が不鮮明]

OK キャンセル

3. チェック結果を出力する



1 [ファイル] - [検査結果のEXCEL出力]コマンドをクリックします。

2 保存先のフォルダーとファイル名を指定して、[保存]ボタンを押します。

チェック結果がエクセル形式で出力されます。

写真チェック結果.xls [目録シート] - Excel

No	ファイル名	撮影場所	チェック	コメント
3	着手前		OK	
4	着手前		OK	
5	基礎コンクリート 籍No.2		NG	油記
6	埋戻前	No.3	NG	橋記、写真が不鮮明
7	1クランク補修材		NG	誤記
8	2防塵補修材		OK	
10	現場密度試験 No.21+H(左)		OK	
11	現場密度試験 No.21+H(右)		OK	
7	プレキャストL型壁 No.2		OK	
8	プレキャストL型壁 No.2		OK	
9	プレキャストL型壁 No.2		OK	

メモ すべての写真のチェック結果を出力するには

チェック結果には、現在表示されている写真のみ出力されます。

すべての写真のチェック結果を出力したい場合は、分類ツリーで先頭を選択してから、チェック結果を出力してください。

またこのとき抽出メニューで、写真が絞り込まれていないようにしてください。

メモ

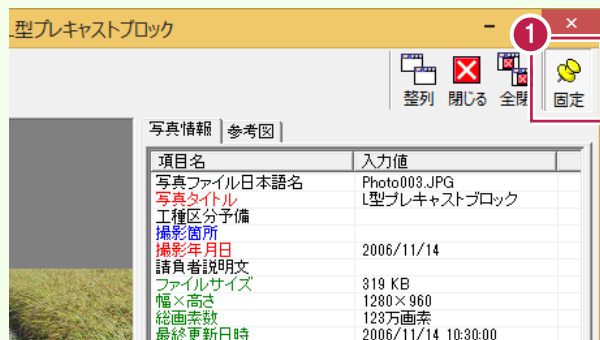
写真を拡大表示するには



- 1 拡大表示したい写真を選択します。
- 2 [拡大] ボタンを押すと、別ウィンドウで拡大表示されます。



写真の拡大表示を追加するには



- 1 拡大写真の[固定]ピンを、オンにしてください。

別の拡大表示したい写真を選択して、[写真拡大] ボタンを押すと、新しいウィンドウで拡大表示されます。
(最大6枚)

※[固定]ピンをオンにしない場合は、拡大写真が切り替わります。

[固定]ピンを「オン」にした写真は、最大6枚まで表示できます。

メモ

EX-フォトビューアと電子納品検査プログラムは双方向に連動します

■EX-フォトビューア→電子納品検査プログラムの場合

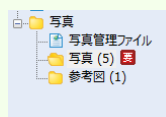
EX-フォトビューアで[OK]の付箋を付けた写真は、[チェック済]チェックボックスが「オン」になります。

[NG1] [NG2] [NG3] [ユーザー]の付箋を付けた写真は、

[要確認]チェックボックスが「オン」になります。

[コメント]付箋の内容は、[コメント]欄に連動します。

ツリービューには「要」マークが付きます。



ファイル	管理項目			コメント
写真タイトル	チェック済	要確認	要指示	
基礎コンクリート	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
L型プレキャストブロック	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
P.Mシート	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	写真が不鮮明

■電子納品検査プログラム→EX-フォトビューアの場合

電子納品検査プログラムで付けたチェックやコメントはEX-フォトビューアに連動します。

[要確認]チェックボックスをオンにすると、EX-フォトビューア起動時に確認のメッセージが表示され、[はい]をクリックすると[NG1]の付箋が付きます。

ご注意

- (1) 本ソフトウェアおよび本文の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本ソフトウェアおよび本文の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。
- (3) 本ソフトウェアを複数の機械で同時に使用する場合は、機械と同数の本ソフトウェアが必要です。
- (4) 本ソフトウェアの内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)の項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。
- (6) 弊社以外のソフトウェアに関するお問い合わせはご遠慮願います。
- (7) データのバックアップについて

お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、お客様御自身の管理・責任において、データは必ず定期的に2か所以上の別の媒体(HDD、CD、DVDなど)に保存してください。

また、いかなる事由におきましても、データの破損により生じたお客様の損害は、弊社では補償いたしかねますのでご了承ください。

-
- Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
 - Windowsの正式名称は、Microsoft (R) Windows (R) Operating Systemです。
 - Windows Vistaの正式名称は、Microsoft (R) Windows Vista (R) Operating Systemです。
 - 「一太郎」「花子」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
 - MultiViewerSDK for 自在眼 Copyright(C) 1997- Antenna House, Inc. Partial Copyright 1997 Verity, Inc. All rights reserved. Verity and KEYVIEW are trademarks of Verity, Inc.
 - TextPorter Ver.5.3 Copyright(c) 1999-2013 Antenna House, Inc.
 - LEADTOOLS Copyright(C) 1991-2009 LEAD Technologies, Inc.
 - UNLHA32.DLL は、Micco 氏のフリーソフトウェアです。
 - 7-Zip Copyright (C) 1999-2011 Igor Pavlov.
 - Antenna House PDF Driver Copyright(C) 2004- Antenna House, Inc.
 - ImageKit7 Copyright(C) 2005 Newton Corp.
 - Adobe、Adobeロゴ、Adobe Acrobat、Adobe Readerは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
 - InstallShield2013 Copyright(C) 2013 Flexera Software LLC. Flexera Software および InstallShield は、Flexera Software LLC の商標です。その他すべてのブランドおよび製品名は、各社の登録商標または商標です。
 - 解説画面を含め、本書に記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。
 - BLUETREND、EX-TREND、EX-TREND武蔵 およびEX-TREND MUSASHIは、福井コンピュータ株式会社の登録商標です。